

平成26年12月16日から18日にかけての

低気圧災害



尾岱沼高波越波

急速に発達した低気圧による 注意報・警報発令と 避難勧告・指示の経過

12月16日(火)

- 11:37 強風・波浪・高潮注意報発令
- 16:26 暴風雪・波浪警報発令
- 18:00 町内避難所5箇所を開設
- 18:10 防災無線で注意喚起放送
(走古丹、本別海、床丹)
- 18:15 防災無線で注意喚起放送
(尾岱沼)
- 20:30 高潮警報発令

12月17日(水)

- 6:24 大雪警報発令
- 8:00 災害対策本部設置
- 8:30 避難勧告(海岸4地区、防災無線放送)
- 9:00 避難指示(本別海地区のみ、防災無線放送)
- 13:00 避難勧告、避難指示を解除し
引き続き自主避難を呼びかける
防災無線放送
- 13:31 高潮警報から高潮注意報へ
- 22:20 高潮警報、再度発令

12月18日(木)

- 11:20 暴風雪、波浪警報から風雪、
波浪注意報へ
- 13:52 高潮警報から高潮注意報へ
(全ての警報解除)
- 14:00 災害対策本部廃止

平成26年12月16日から18日にかけて通過した低気圧により、道東地方を中心に甚大な被害がもたらされました。日本海中部と四国の南にあった2つの低気圧が北東へ進み、17日朝に北海道付近でひとつにまとまり、根室の東海上では948ヘクトパスカルまで発達しました。強風による吹き寄せ効果と気圧の変化による吸い上げ効果で海水面が上昇し、さらに満潮時間とも重なり大規模な高潮が発生しました。

町では12月17日午前8時に災害対策本部を設置して警戒にあたり、高波と高潮による被害が懸念された尾岱沼・床丹・本別海・走古丹地区に「避難勧告」を発令し、その後、特に被害の拡大が心配された本別海地区へはより強制力の高い「避難指示」に切り替えるなど、海岸地区住民に避難を呼びかけました。今回の災害では、床上・床下浸水など海岸地区を中心に大きな被害をもたらしました。



尾岱沼



国道244号本別海付近



国道244号床丹―尾岱沼



尾岱沼春別



尾岱沼春別



尾岱沼春別



床丹



床丹



床丹



別海漁協付近



西別川河口付近



野付半島遊歩道



走古丹



走古丹

主な被害状況（平成27年1月13日現在）

住 家 被 害	一部損壊	2件	30千円
	床上浸水	8件	12,950千円
	床下浸水	18件以上	—
非 住 家 被 害	一部損壊（公共施設）	1件	21千円
	一部損壊（公共施設以外）	23件	—
	床上浸水	25件	—
	床下浸水	107件以上	283千円
農 業 被 害	営農施設（施設の破損）	4件	—
	畜産被害（生乳の廃棄）	9件	433千円
	その他	2件	—
土 木 被 害	道路	1件	400千円
水 産 被 害	漁船被害	40件	500千円
	漁業施設被害	29件	4,973千円
衛 生 被 害	し尿処理施設	1件	411千円
商 工 被 害	営業施設	11件	5,703千円
社会教育施設被害	体育施設	3件	8千円
そ の 他	北方展望塔外灯破損	1件	54千円
総 額			25,766千円

北海道知事被災地視察



低気圧災害に伴う被災地調査のため、平成26年12月21日に高橋はるみ知事が本町を訪れ、特に被害の大きかった本別海地区を視察し、被災者等から聞き取り調査を行いました。

この度の災害で被災された皆さんにお見舞い申し上げます。

今回の災害発生に伴う避難所の迅速な開設・誘導、炊き出し、物資提供等につきましては、町内会の皆さん、別海町社会福祉協議会、日本赤十字社北海道支部、北海道共同募金会、ボランティアサークル サンキューの会など多くの方々の協力をいただき深く感謝申し上げます。